

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。

< JTCC開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

● 令和5年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	技術士一次試験合格者
受験申込書の配布	令和5年6月9~28日	令和5年3月27日~4月17日
受験申込書の受付(写真要)	令和5年6月14日~28日	令和5年4月3日~17日
試験日	令和5年11月26日(日)	令和5年7月17日(月・祝)
筆記合格発表	令和6年2月	令和5年10月
口頭試験	なし	令和5年12月
技術士資格合格連絡	文部科学省官報にて受験版番号告示	
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

◆ 「技術士」資格試験案内(オープンセミナー)を令和5年3月25日(土)より開催します。

< オープンセミナーの案内 >

NO	講義方法	日時	配信方法	申込み期限
1	LIVE	R5年3月25日(土) 14時~16時	Teams	3月24日(金) 申込受付後招待状を送信します。
2	録画1	R5年4月9日(日) 14時~16時	Teams	4月5日(水) 申込受付後招待状を送信します。
3	録画2	R5年5月13日(土) 14時~16時	Teams	5月10日(水) 申込受付後招待状を送信します。

注) R5年4月9日(日)のセミナーに変更になっています。(従来は、4月8日(土)でした。)

・申し込み方法

- ① JTCC ホームページ: <https://jtcc.or.jp>
- ② JTCC 本部あて、E-mail: jtcc-ed-os@mbr.nifty.com でお申し込み下さい。
氏名、会社名、所属部署、連絡先(TEL/FAX、メールアドレス)を明記願います。
後日、受講の招待メールを送信します。

一般社団法人 日本繊維技術士センター教育活動委員会
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館内6階
(TEL 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575)

◆技術士一次試験受験講座の案内（本部が行う予定です。添付資料参照）

	JTCC 本部(大阪)
募集時期	5月1日～6月16日
講義開催日程	6月24日、7月8日、22日、8月5日、19日 (フォロー講座) 材料・化学:8月6日、 紡糸・合繊:8月26日
模擬試験	9月16日
講義方式	講義:オンライン 模擬試験:対面とオンライン
募集人員	20名
講義の内容	講義、模擬試験、模試結果のフォロー
全講義受講料金 (部分受講もあり)	8万円 (部分受講は別料金)
申し込み方法	JTCC のホームページ
指定アドレス	jtcc@nifty.com
FAX	06-6484-6575

◆JTCC「公開講演会」

講演会は決まりましたら連絡します。

広告

(一財) ニッセンケン品質評価センター

エコテックス®(OEKO-TEX®)2023年の新規制・新規取組を発表
～繊維・皮革産業と消費者とのさらなる信頼関係構築に向けて～



繊維・皮革産業とその顧客＝消費者との信頼関係の構築がエコテックス®国際共同体の使命です。信頼は一貫して高い品質に基づいて築かれるとの考えから、認証に適用する試験基準、規制値、ガイドラインの定期更新を行いました。以下に変更点等をご紹介します。

①エコテックス®ステップが B Hive に対応

グローバルサプライチェーンにおける化学物質管理を行う【B Hive®アプリ】により、エコテックス®ステップ認証企業は、2023年4月から現場で使用するすべての化学製品の情報をスマートフォンで収集し、当該製品が各ブランド・小売業者等の設定するサステナビリティ要件を満たしているか、判断可能です。

②エコテックス®オーガニックコットン認証の開始

2023年4月より新たに【エコテックス®オーガニックコットン認証】を開始します。エコテックス®ではサンプル原料におけるDNA定性分析(製品に遺伝子組換コットンが含まれているか否かの確認)に加え、第二段階として含有量を算出します。

③エコテックス®エコパスポート:セルフアセスメントを将来的に義務化/ZDHCの更新に対応

2023年4月以降すべての認証取得企業の生産拠点でセルフアセスメントが義務化されるため、それ以降に発行されるすべての

認証は、有効なセルフアセスメントの提出が必要です。なお、すでに認証を取得している企業には、移行期間が設けられる予定です。また、ZDHCの更新に対応し、スタンダード100、レザースタンダード、エコパスポートの各認証においてPFAS/PFCの使用を全面的に禁止することが決定しました。

④スタンダード100、レザースタンダード、エコパスポートの規制値を更新

これまで要監視物質であったクロロタロニルなどの農薬が規制に追加されました。また、3つの物質が人の健康や環境に深刻な影響を与える可能性のある高懸念物質に再分類されました。

⑤要監視物質の新着情報

エコテックス®は2023年も最新の科学的知見による適合性に基づき各種物質の監視を継続します。主な対象物質は、酸化防止剤の「ドロメトリゾール」と化合物の「N-エチル-2-ピロリドン」です。

【エコテックス®に関するお問い合わせ先】

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
〒124-0012 東京都葛飾区立石 4-2-8 TEL:03-5875-6055 E-mail: oeko-tex@nissenken.or.jp

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

・新着情報なし

2. 環境省

・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)

・新着情報なし

●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・新着情報なし

4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

●(一社)日本衣料管理協会

2023年度 TES試験のスケジュール(予定)	
試験日	2023年7月9日(日)
日程	願書配布 4月1日～5月12日
	願書の受付 5月1日～5月19日(消印有効)
	試験日 7月9日(日)
	試験結果発表 9月中旬
	認定日 11月1日
試験会場	東京試験場 実践女子大学 渋谷キャンパス
	名古屋試験場 ウィンクあいち
	京都試験場 京都女子大学
	福井試験場 福井大学 文京キャンパス
	倉敷試験場 倉敷ファッションセンター福岡試験場 JR博多シティ会議室
※新型コロナウイルスの感染状況により、試験会場の変更や試験を中止する場合があります。 最新情報は随時ホームページにてご案内します。	
受験資格	学歴・年齢を問わずだれでも受験することができます。

●(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

・小・中・高等学校の全教育課程の教科書にSEKマークが掲載されました

●関西ファッション連合

・新着情報なし

広告

株式会社 不織布情報

お陰さまで、皆様と共に！
SINCE1972

新刊案内

SNSや動画サイトでも
情報発信中!!

 Facebook
不織布な日々

 Twitter
不織布な日々

 YouTube
不織布情報
チャンネル



2023 不織布年鑑

月刊誌「不織布情報」
12月・1月合併号

B5判290ページ
(税・送料込み) **11,000円**

お申し込みはFAXまたはHPから
貴社名・住所・部署・氏名・電話・
購入部数を明記の上、
FAX:06-6267-5777
<https://www.nonwovens.co.jp>

2023不織布年鑑

(株)不織布情報 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-2-7 堺筋木下ビル4F <https://www.nonwovens.co.jp>

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆<繊維学会誌> 2023年3月号



<解説:繊維技術ロードマップ その2>

○ ヒューマンインターフェースとしての繊維製品のものづくりシステムの構築
神戸大学 井上真理

1. はじめに
2. 「ヒューマンインターフェースとしての繊維製品のものづくりシステムの構築」の定義と位置づけ
3. 繊維技術ロードマップにおける「ヒューマンインターフェースとしての繊維製品のものづくりシステムの構築」の内容
4. ウェルビーイングを追求したサステナブルな繊維製品生産システムによる統合的デザイン ～人間の感性を繊維技術へ～
5. おわりに

○サステナビリティに対応する繊維技術— バイオ繊維の普及、繊維 to 繊維リサイクル技術の実用化
化繊協会 小松沢明宏

1. はじめに
2. サステナビリティに対応する繊維技術
 - 2.1 バイオ繊維の普及 (1)主要な合成繊維のバイオベース化 (2)バイオ繊維の高性能化

- (3)バイオ技術を用いた低環境負荷で高効率な繊維製造プロセスの開発
- (4)生分解性繊維の高性能化 (5)評価・鑑別技術 (6)使用後のバイオ繊維の有効利用

2.2 繊維 to 繊維リサイクル技術の実用化

- (1)易リサイクル繊維製品の開発 (2)繊維製品の分解・分析技術
- (3)前処理技術(素材分離、異物除去、脱色等) (4)リサイクル技術
- (5)繊維化技術 (6)再生品の評価・鑑別技術 (7)その他

○無水型染色加工技術の実用化

福井大学 堀 照夫

1. はじめに
2. 非水系染色と開発の歴史
3. 超臨界「CO₂を用いた新たな展開
4. おわりに

○経済産業省「繊維技術ロードマップ」オープンプラットフォームによる事業化促進

信州大学 森川英明

1. はじめに
2. オープンプラットフォームの機能
3. 持続可能な循環型繊維製品戦略(EU)

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 福岡 強

(10)工業資材

4. 10. 1 工業材料とは
4. 10. 2 工業材料としての要求性能
4. 10. 3 工業用繊維製品とは
4. 10. 4 テキスタイル 2019 から見たトピックス
4. 10. 5 汎用材料から工業用資材を見る
4. 10. 6 工業資材としての製品
4. 10. 7 ナノファイバーの広がり

◆<繊維製品消費科学会誌> 2023年2月号

【解説】

○バイオミメティクスの視点で見る化学繊維の変遷(その2)

(一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

1. ナノ繊維の勃興
2. ナノファイバーの定義
3. ナノ繊維に「特有の性能
4. ナノ繊維の製法と種類

4.1 海島型熔融紡糸法ナノファイバー	4.2 エレクトロスピンニング法ナノファイバー
4.3 メルトブロー法ナノファイバー	4.4 セルロースナノファイバー
4.5 カーボンナノチューブ	4.6 ナノ繊維への期待
5. サステナブル繊維への流れ
6. バイオマス繊維

6.1 セルロース系繊維	6.2 ポリ乳酸繊維
6.3 汎用性合成繊維のバイオベース化	6.4 新規バイオミメティック繊維



○近年の「機能加工の進展と展望」

元 繊維評価技術協議会 越智清一

1. はじめに
2. 機能性繊維の機能性の分類
3. 機能性試験方法の JIS/ISO 最新制定状況
4. 機能性繊維の今後について

○ファッションビジネスの変遷と業界団体の意義

(一社)日本アパレル・ファッション産業協会 池内千鶴

○「JIS L 1954 生地を経時的吸放湿性試験方法」制定までの経緯とその活用について

(一財)ボーケン品質票か機構 坂井史治 旭化成(株) 吉澤知佐

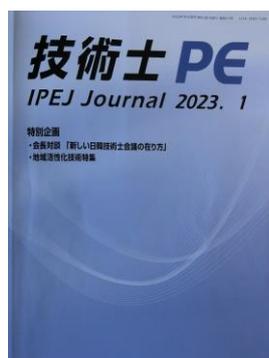
- 未使用資源を価値化する、i-wool(県産羊毛)活用の取り組み (株)クラシカウンスル 水野ひろ子
 ○衣料レンタルサービスを構成する要素の価値分析
 共立女子大学 矢澤利枝香 藤田雅夫 手塚山大学 川村哲也

◆<繊維機械学会誌> 「月刊せんい」 2023年2月号 _____



- 新特性シルク開発の現状 国立研究開発法人 伊賀正年 富田秀一郎
 1. はじめに
 2. シルクについて
 3. これまでのシルクとこれからのシルク
 4. 遺伝子組み換え技術による新機能シルクの開発
 5. シルクの力学物性改変に向けた取り組み
 ○CNF連続脱水・シート化装置の開発 川之江造機(株) 木下聖也 西谷慎也
 1. はじめに
 2. CNF実用化が抱える課題
 3. CNF脱水機構
 4. CNF連続脱水装置試作と実証実験

◆<日本技術士会誌> 「技術士PE」 2023年2月号 _____



- 地域活性化技術特集
 ○2050年カーボンニュートラルを視野とした原子力の役割と課題 和田隆太郎
 ○水の再利用と国際標準化 大熊那夫紀
 ○WEB 個人配信による技術者倫理の紹介 榎本 浩
 ○豪雨災害多発時代の気象情報有効活用 山本光一
 ○明治日本の産業革命遺産とイギリス 福西由美子

(月刊誌)

◆<加工技術> 2023年1月号 _____



- 躍進するインクジェットプリント Advanced Consulting Partners 伊藤高廣
 ○動き出した「繊維ビジョン2022」とサステナブルファッション 福井大学 堀 照夫
 1. 注目すべき繊維技術
 2. 「サステナブルファッション EXPO 2022 秋」と「エコプロ 2022」から見えるもの
 ○K2022 国際プラスチック・ゴム産業展レポート
 ドイツ・デュセルドルフで開催 (一社)日本繊維技術士センター 八木健吉
 ○ファイバーメーカーの生産流通システム (一社)日本繊維技術士センター 西中久雄
 8. 化合繊製造会社の流通
 9. 日本の化合繊の歴史と化合繊製造会社の動向
 10. 化合繊生産工場の組織と役割
 11. 化合繊製造会社の開発活動
 12. 今後の展望
 ○西陣555年-戦乱と火災を乗り越えて (一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

◆<新聞、他>

織研新聞

○2023年1月の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	111	662	68	641	179	56.3	1,303	50.3
		▲5.5	1.8	2.5	6.7				
2	ベトナム	37	252	16	230	53	16.7	482	18.6
		35.0	50.8	32.3	44.9				
3	バングラデシュ	18	76	7	81	25	7.9	157	6.2
		43.4	42.3	23.9	49.5				
4	カンボジア	9	55	5	71	14	4.4	126	4.9
		1.2	26.5	20.8	39.7				
5	インドネシア	5	44	3	48	8	2.5	92	3.6
		8.7	37.3	3.0	24.4				
6	イタリア	0.1	31	0.1	47	0.1	0.1	78	3.0
		6.5	30.1	4.6	23.1				
7	ミャンマー	8	39	8	96	16	5.0	135	5.2
		97.3	104.4	100	122.0				
	全世界	203	1,270	115	1,319	318	100	2,589	100
		7.4	18.0	13.5	24.5				

出所:日本貿易統計

業界待望のバイブル!!

次代につなぐSDGs
持続可能な染色加工をめざして

日本を代表する繊維技術士16名による実践のノウハウ書

テキスタイル実務者 必携

実践の染色読本

4月末発刊!!

- 企画：日本染色加工同業会80周年記念事業
- 編著：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
- 発行：株式会社 ファイバー・ジャパン
https://www.fiberjapan.co.jp
- 体裁：B5判 350ページ
- 定価：本体 10,000円 + 税

JTCCご紹介 特別価格 2023年6月末まで
初版限定

7,000円 (税+送料共)

本書の内容は今までにない充実したものと自負。初心者を対象というよりむしろ染色の実務経験のある方にぜひ読んでいただきたい。(JTCC 嶋田理事長)

「発刊にあたって」より (抜粋)

当同業会の80周年記念事業として、「実践の染色読本」を発刊することになりました。現存する染色加工に関するノウハウ書はありません。今回の企画により染色加工技術分野唯一のノウハウ書が誕生することになり、次代の染色加工技術の持続可能な礎になると確信しています。

執筆と監修は日本繊維技術士センター技術支援委員会に協力いただきました。染色加工技術分野は多岐に渡っていますが、詳細に執筆いただき充実した内容になりました。テキスタイル関連に携わる実務者は、海外を拠点に活動をしており、このノウハウ書「実践の染色読本」を必携書として有効に活用されることを切望します。

日本染色加工同業会
理事長 伊藤 博
代表幹事 今田 邦彦

「発刊に寄せて」より (抜粋)

日本染色協会は、当業界の将来に向けての課題解決案として、①「SDGs」への取り組み、②新商品開発等への新たな取り組みを掲げております。これらの課題達成に向けて、今回、日本染色加工同業会の80周年記念事業として企画され、長年、染色加工に従事され蓄積された技術の粋を結集された本書は、今後、当業界の染色技術者育成の基礎となり、染色の現場で発生している不具合の種々の課題解決に寄与するものと確信しております。

一般社団法人 日本染色協会
会長 後藤 勝則

執筆者一覧 (順不同・敬称略)

- 嶋田 幸二郎 (一社) 日本繊維技術士センター 理事長、元・帝人㈱、尾張整染㈱
- 今田 邦彦 (一社) 日本繊維技術士センター 顧問、元・住友化学㈱
- 有瀧 宗重 (一社) 日本繊維技術士センター 執行役員、元・東洋紡㈱、元・大同マルタ染工㈱
- 橋本 嘉顯 (一社) 日本繊維技術士センター 理事、元・東洋紡㈱
- 橋田 佳雅 (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、モリリン㈱
- 馬場 武一郎 (一社) 日本繊維技術士センター 正会員、日本毛織㈱ 衣料繊維事業本部
- 西村 元廣 (一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・ユニチカ㈱
- 寺寄 正淳 ㈱日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部
- 大島 直久 (一社) 日本染色協会 理事 大阪事務所長 兼 技術部長、元・東海染工㈱
- 秋丸 光嗣 (一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・和歌山染工㈱
- 松田 芳樹 (一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・DIC ㈱
- 金崎 英夫 (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・日華化学㈱
- 越智 清一 (一社) 日本繊維技術士センター 客員、元・東洋紡㈱、元・(一社) 繊維評価技術協議会
- 上本 雅則 (一社) 日本繊維技術士センター 正会員、元・東レコーテックス㈱
- 水囊 満 (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・㈱ミツヤ
- 森本 國宏 (一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・(一社) 日本染色協会

★裏面に特別価格FAX申込書

本書は4月末発刊後に発送させていただきます。

裏面 内容目次

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先: jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集: 一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469